

会 議 録

会議の名称		令和５年度第１回守谷市地域公共交通活性化協議会		
開催日時		令和５年６月２２日（木） 開会：午前１０時　閉会：午前１１時４０分		
開催場所		市役所　議会棟１階　大会議室		
事務局(担当課)		都市整備部　都市計画課		
出席者	委　員	佐野委員、有原委員、佐藤委員、小路委員、梶澤委員、爲我井委員、中島委員、寺田委員、宮野入委員、泉委員、玉村代理、長谷川代理、櫻井委員、中嶋委員、澤畠委員、武藤委員、片山代理、田中委員、石塚委員、浅野委員 以上　２０名		
	市職員	笠川課長、出野課長補佐、高野係長、平井主任、西山主事、中野主事 以上　６名		
公開・非公開の状況		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	１名
公開不可の場合はその理由				

会議次第	1	開会	
	2	副市長あいさつ	
	3	委嘱状交付	
	4	新委員紹介	
	5	会長・副会長の選出	
	6	会長あいさつ	
	7	議事	
	(1)	協議事項	
	議案第1号	令和4年度事業実績及び収支決算について	
	議案第2号	令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について	
	議案第3号	令和6年度守谷市地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について	
	議案第4号	令和5年度中学3年生向けお試し乗車券付きリーフレットの配布に関する運賃変更の協議について	
	議案第5号	守谷市商工まつり開催に伴うモコバス無料デーの実施について	
	(2)	報告事項	
	報告第1号	令和4年度公共交通利用実績（デマンド及びモコバス）について	
	報告第2号	高齢者運転免許自主返納事業実績報告について	
	報告第3号	モコバスさくらんぼ公園前バス停移設について	
	8	その他	
	9	閉会	
確定年月日		会議録署名	
令和5年8月2日		中島 伸一	

審 議 經 過

1 開会

2 副市長あいさつ

3 委嘱状交付

4 新委員紹介

5 会長・副会長の選出

6 会長あいさつ

7 議事

(1) 協議事項

- 議案第1号 令和4年度事業実績及び収支決算について
【事務局から説明】

○意見・質問等
特になし

【採決の結果、全員賛成により承認】

- 議案第2号 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
【事務局から説明】

○意見・質問等

小路委員：高齢者運転免許自主返納事業にモコバスの券を追加することだが、これに該当する予算はどの部分なのか。また、今回はデマンドとモコバスのどちらかを選択するようだが、両方選べるなど柔軟に対応することはできないのか。

事務局：この券は市が発行しているものであるが、これを運賃収入とすることはできないので、デマンド乗合交通運行経費の中で見ている。現在のところ、どちらかの選択式を考えており、両方の枚数を選択するような方式は考えていない。

小路委員：利用券の交付はいくら分なのか。

事務局：現在は10,500円分である。モコバスの券についても同等額の交付を考えている。全体額ではあくまで令和4年度の実績ベースだが、144万円程度を想定している。

小路委員：1人に対して10,500円分を交付し、全体額では144万円程度であるということか。

事務局：その通りである。

【採決の結果、全員賛成により承認】

- 議案第3号 令和6年度守谷市地域内フィーダー系統確保維持計画（案）

について

【事務局から説明】

○意見・質問等

小路委員：今回はデマンドが対象となっているが、市内の他の路線バスやモコバスは対象にならないのか。

事務局：路線バスについては、県の方で地域間幹線系統の路線を指定しており、守谷市では岩井バスターミナル線のみが対象となっている。モコバスについては、要綱の新規性要件に該当していないため、対象となっていない。

小路委員：市内の路線バスやモコバスは赤字なのか。そうであるなら市から何か補助はしているのか。

事務局：路線バスについては路線ごとの経営状況は把握していない。モコバスについては、昨年度運賃収入は600万円程度であるが、運行経費は4,300万円程度かかっているため、差額の3,700万円については赤字ということになる。赤字分については市から負担金ということで補填をしている。路線バスの補助については現在行っていない。

小路委員：路線バスはその中の収入で成り立っているから市として補助をしていないということか。また、モコバスは当然黒字にならないので市で負担しているということでしょうか。

事務局：路線バスは関東鉄道株式会社が運行している事業で、その収支は会社の中で行っている。モコバスは市が公共交通事業として行っているものであるが、どうしても黒字化は難しいと考えている。収入に関しては事業費に充てているが、それでも足りない部分は市の負担金を充てている。

小路委員：デマンド乗合交通についてであるが、市で割り当てられた補助上限額が国の補助上限額の最大1/2より低いので最大までは出ないとのことだが、国の上限額1/2が出たとしても赤字なので、残りの部分は市が負担するということか。また、実際は1/2はもらえないので1/2もらえた場合との差額は市が負担しているのか。

事務局：守谷市では市の上限額として約431万円が国から指定されている。要綱上は1/2だがこれ以上はもらえない。補助金の差額については市が負担している。

宮野入委員：昨年の協議会で、モコバスと路線バスを連携させて地域住民の利便性を良くしてほしいと提案したが、路線バスは関東鉄道、モコバスは地域公共交通活性化協議会でダイヤ等を検討するというので、それぞれが独立して運行するという認識でよいのか。

事務局：市内の路線バス運行経路等は市と協議をしてもらっている。路線バスは市内全域を回れるわけではないが、まったく別というわけではない。運行を管轄できるのはモコバスのみだが、公共交通としての考えは両方で協議をしていく。

宮野入委員：先日関東鉄道がEVバスを導入したという報道を見たが、すでに導入済みか。

武藤委員：守谷営業所に2台配置しており、主に市内線で運行している。

【採決の結果、全員賛成により承認】

- 議案第4号 令和5年度中学3年生向けお試し乗車券付きリーフレットの配布に関する運賃変更の協議について

【事務局から説明】

○意見・質問等

小路委員：これは県で行っている事業でそれに参加するということか。関東鉄道のバスに加えて新たにモコバスも使用できるようになり、割引券分の費用を負担するということか。

長谷川代理：県で事務局をやっている茨城県公共交通活性化会議の事業である。県のバス協会にも協力していただいて事業を行っている。運賃の差額分については事業者の協力を得て負担してもらっている。

小路委員：路線バスは関東鉄道で、モコバスは協議会で負担するということか。

事務局：その通りである。

【採決の結果、全員賛成により承認】

- 議案第5号 守谷市商工まつり開催に伴うモコバス無料デーの実施について

【事務局から説明】

○意見・質問等

特になし

【採決の結果、全員賛成により承認】

- 報告第1号 令和4年度公共交通利用実績（デマンド及びモコバス）について

- 報告第2号 高齢者運転免許自主返納事業実績報告について

- 報告第3号 モコバスさくらんぼ公園前バス停移設について

【事務局から説明】

○意見・質問等

寺田委員：停留所はどのくらい移動したのか。

事務局：6m程度である。

寺田委員：以前デマンド乗合交通の予約センター移動の話があったが、その後どうなっているのか。

事務局：移転については検討しているが、候補地が選定できていない状態である。都市計画法上事務所という扱いになるので市街化調整区域に

は設置できない。また、市街化区域でも住居専用地域以外の土地等でなければ、事務所単体で設置することが難しいので、候補地選びが難しい。

寺田委員：進展状況としては進んでいないということでしょうか。

事務局：候補地はいくつが上がっているが、借りるまでは至っていない。

寺田委員：予約センター関係者に聞いたが、市役所内や学びの里、モリヤガーレへの設置は困難だろうという意見だった。センター側もかなり気にしているようだが、このあたりの施設は検討したのか。

事務局：これらの施設は市街化調整区域内にあるため、都市計画法上事務所の設置が難しい。検討はさせていただいた。

寺田委員：国際交流センターも難しいのか。

事務局：あちらも公民館という扱いなので、事務所の設置ができない。確定ではないが、松ヶ丘の元結婚式場用地を取得した場合には、その一部を使用できないか掛け合っているところである。

小路委員：デマンド乗合交通のお断り件数が多いが、減らしていくような策は検討しているのか。モコバスの無料デーを昨年度実施していたが、今年度は実施しないのか。事業の効果を検討して今年度は実施しないということなのか、20周年記念事業として行っただけなのか、どちらか。また、今後についてはどう考えているか。高齢者運転免許自主返納事業だが、高齢になってから返納する方が多いと思う。この事業を行っただけでより早く返納する人がいるなど、効果があったのか。1回きりではなく繰り返し交付するなど、早く返納しようと思うような策についてはどう考えているか。

事務局：お断り件数については、昨年度策定した公共交通計画に基づいて車両の大型化などの策を検討していく。無料デーは市政施行20周年記念事業の一環として行っただけなので今年度や今後の実施予定はない。免許返納については、現在も60代70代の方が多い。繰り返しの交付は予算の関係もあり、現時点では難しいと考えている。

8 その他

事務局：次回の協議会開催の予定は、1月頃を予定している。ただし、年度途中で書面協議等を開催する場合もある。

田中委員：路線バスのバス停の環境を改善してもらいたい箇所がある。市民交流プラザからせせらぎの小路バス停の間だが、現在は道路の植栽の間の狭いスペースにバス停を設置している。利用者から改善の要望もあったため、植栽を一部伐採して整えていただきたい。

事務局：道路管理者も併せ、どのような対応ができるか検討する。改善内容の細かい部分はバス会社とも協議をする。

9 閉会

